

原野谷学園新たな学校づくり

検討委員会だより

発行：掛川市教育委員会

第8回・第9回検討委員会を開催しました！

令和6年7月3日・17日に原野谷中学校にて、第8回・第9回「原野谷学園新たな学校づくり検討委員会」（以下検討委員会）を開催しました。主に基本構想・基本計画の内容について検討を行いました。

【基本構想・基本計画を検討しました！】

令和5年11月から開催してきました検討委員会の、最初のステップである「基本構想・基本計画」の検討を完了しました。地域・保護者・児童生徒・教職員の皆様から頂いた意見を集約した整備コンセプト・基本方針や、建設場所、ゾーニング配置案等を記載し、以下のような内容となっています。

第1章 学校施設を取り巻く状況…全国および掛川市の教育方針等についてまとめています。

第2章 原野谷学園の状況…検討経過や位置、児童生徒数等の基本情報をまとめています。

第3章 基本構想…整備コンセプト・基本方針と建設場所、公共施設の状況をまとめています。

第4章 基本計画…ゾーニング配置案や必要室数、開校に向けたスケジュール等をまとめています。

※完成した基本構想・基本計画は市HPに掲載いたします。



【原谷地区からの要望書について】

令和6年1月30日に1回目、6月5日に2回目の要望書が提出されました。
要望の内容はそれぞれ以下のとおりです。

【令和6年1月30日】

要望者：原谷地区区長会長、まちづくり協議会長
・原野谷小中一貫校建設地は、現原谷小学校敷地+北側用地拡張とすることを要望する。
・本郷東区、本郷南区、西山区住民700名が賛同。

【令和6年6月5日】

要望者：原谷地区区長会、まちづくり協議会
・原野谷学園新たな学校建設地は、原谷小学校の位置に建設を要望する。
・原谷地区の18歳以上の住民2,418名のうち1,968名が要望。

これを受けて、市から要望者に対して協議を申し入れている状況です。（7月22日現在）

検討委員会および市・教育委員会としては、総合的な判断の元、建設地を原野谷中学校に決定しましたが、小中学校の再編が、原谷と原田の両地区に関係する事業であることから、原谷地区区長会とまちづくり協議会から賛同を得た状態で、事業を進めていきたいと考えています。要望者との協議を踏まえて、改めて今後のスケジュール等をお伝えしていきます。

どうして原野谷中学校を建設地にしたんだっけ？



主な理由1つ目は、**広さ**があるからです。

小中一貫校になれば、小中学生全員が同じ場所に通うことになります。

授業運営のためには小中それぞれに必要な施設もあるため、敷地に一定の規模が必要です。施設等を仮配置した結果、原谷小では配置困難ですが、原野谷中なら可能となりました。

敷地面積	
原田小	18,100㎡
原谷小	23,474㎡
原野谷中	31,707㎡

主な理由2つ目は、**早く建てられる**からです。

現原野谷中は築63年と市内の学校で一番古く、修繕も発生しています。※耐震工事は完了済み
原野谷中は広さがあるため、用地拡張・造成に費やす時間やそれらに伴う許認可手続き等が不要になります。子どもたちに一番早く新しい環境を提供できる点を評価しました。

↓ 具体的な検討内容・資料は、<検討委員会のホームページ>で公開しています。ぜひご確認ください！

<検討委員会のホームページ>

QRコードからアクセスできます➡



<専用のご意見フォーム>

にご意見をお寄せください➡



ご意見・ご質問等ございましたら、掛川市教育委員会 教育政策課 学校再編室までお問い合わせください。

〒436-8650 掛川市長谷一丁目1-1 TEL: 0537-21-1155 FAX: 0537-21-1222